

日本退職教職員協議会
県各単会 会長様

日本退職教職員協議会
会長 竹田邦明

第 5 回日退教福島学習の旅

「福島原発事故から12年半ー『福島』の今を福島で学ぶ」

東日本大震災・福島原発事故から12年半が過ぎ、依然として事故の収束作業は難航し、廃炉に向けて最も難関といわれる熔融燃料（デブリ）の取り出し作業は、高い放射線に阻まれています。

岸田政権は、約束を反故にして、地元漁業従事者と話をしないまま、デブリに触れた汚染水をALPSで処理したとして、海水で薄めて海洋放出を行いました。

東日本大震災・福島第1原発事故で受けた農林水産業のダメージは大きく、とりわけ漁業は深刻です。ようやく2020年に出荷制限魚種が亡くなり全ての魚が操業対象魚になりました。しかし、震災前の水揚げ量に比較して2割程度にとどまっています。

日退教は2016年、17年、18年、19年に、脱原発社会の実現をめざす運動の一環として、現地福島県退教の協力を得て、「福島学習の旅」を実施してきました。今年度も現地退教の協力のもの第5回学習の旅を下記の要領で実施いたします。

今回は、双葉郡双葉町に新しくできた「東日本大震災・原子力災害伝承館」を訪ね、福島県退教会員の語り部の話を聞きます。震災遺構・請戸小学校に入って大震災の脅威と教訓を学ぶ予定です。

各単会会員の皆様の積極的な参加を要請いたします。

記

- 1 日 時 2023 年 11 月 5 日（日）～6 日（月）
- 2 会場・宿泊 福島県飯坂温泉 公立学校共済組合飯坂保養所 あづま荘
- 3 行程（予定）

11 月 5 日（日）

13：30 受付（あづま荘・学習会会場）

14：00～17：00 講演・学習会・内容検討中です

18：00 交流懇親会

宿泊

11月18日(月)

8:30～ あづま荘発 バスにて被災区域・請戸小学校
・東日本大震災・原子力災害伝承館等を訪ねる予定です。

16:50 福島駅(予定)着 解散

4 募集人員 25名(先着順とさせていただきます)

5 費用 2万円

1泊3食(交流懇親会・視察時昼食含む)、バス代・講師謝礼等全て含む。

6 申込・締め切り 10月20日(金) 別紙申込用紙にてFAXでお願いいたします。

7 その他 (1) 当日あづま荘集合となります。
(2) 基本的に男女別相部屋となります。
(3) 詳細は参加者に別途連絡いたします。

以上

第5回日退教福島学習の旅

「福島原発事故から12年半－『福島』の今を福島で学ぶ」

参加者申込み名簿

申し込み日 2023年 月 日

単会名	
連絡責任者	

参加者お名前 (年齢)	(〒) 住 所	電話《できれば携帯》	Fax
()	(〒)		
()	(〒)		
()	(〒)		
()	(〒)		

参加者申し込み締め切りは 10月20日(金) です(先着順とさせていただきます)

日退教 FAX 03-5275-2081

メール nittaikyo@gmail.com